

定置網漁業 公表用実技試験問題（専門級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着・収納（3分）

① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。

② 装着物を外し、正しく収納する。

（使用機材） 各自通常使用中の上記装具

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（8分）

① かえる又結び ② 巻結び ③ もやい結び ④ バックスプライス

（使用機材） 長さ2m、中程度の太さのロープ数本

(2) 漁具の製作（10分）

① アイスプライス ② ショートスプライス

（使用機材） 中程度の太さのロープ2本、スパイキ

(3) 漁具の製作（50分）

次の模型網を製作する。

1mのロープに浮子を3個固定し、垣網側網を製作する。

次に、目合約10cmの垣網地（5×3目、内割り縮結約3割）を製作して、

垣網側網にボタン網（吊り網）で取りつける。

※詳しくは別紙参照。

(4) サンドバッグの製作（3分）

袋口が切れないように締めて、定置網の固定用サンドバック（土俵）

1個を製作する。

（使用機材） 土俵袋、砂

※詳しくは別紙参照。

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ワーピングエンドの操作（6分）

ロープ50mをワーピングエンドで巻き上げる。この場合、巻揚げの反対側端に5～10Kg程度の錘（鉛錘、鉄錘、サンドバック或いはプラスチック缶に水を入れたもの等）を取り付けておく。

（使用機材） ロープ50m、ワーピングエンド（キャプスタン、縦ローラー或いは横ローラー）

4. 漁獲物の処理

(1) 漁獲物の選別（2分）

定置網漁業で獲れる魚の写真40枚を見て、魚種ごとに選別を行う。（試験地により3種類以上の魚種を組み合わせる。）

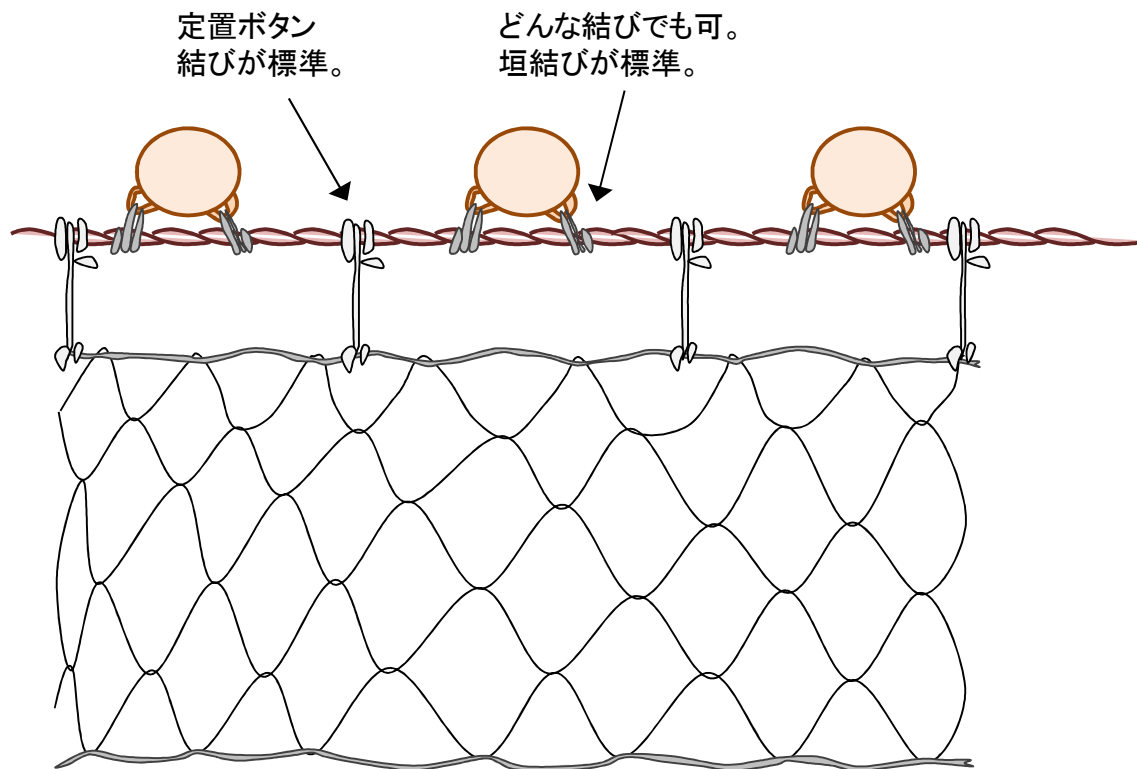
（使用機材） 上記漁獲物の写真・・・大日本水産会が用意

以上

《別紙》 模型網の作成 (定置網・専門級)

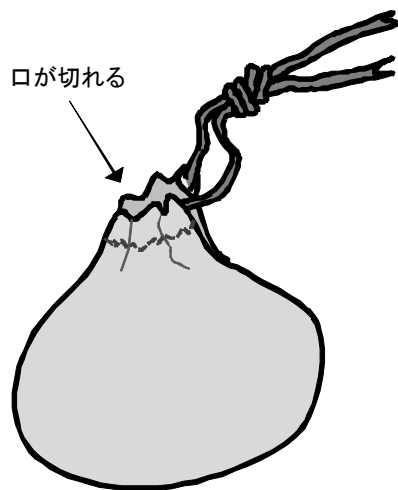
- 使用機材
- ・ 垣網の側網ロープ直径 6~10mm のロープ 1m 程度
 - ・ 直径 10cm 程度の浮子 (耳付き) 3 個
 - ・ 浮子を側網に縛る紐 (網地修理用のスパン糸程度)、3m 程度
 - ・ 網地を編む糸、直径 0.5~1mm 程度の糸 5m 程度
 - ・ 網地を編むときのアバリ、1 個
 - ・ 網地の浮子側の縁網と沈子側の縁網、1m 程度を 2 本 (太さ 2~3mm)
 - ・ ボタン網として、1m 程度を 3 本 (太さ 2~3mm)

結び方は、ガイドブックのロープワークを見れば分かります。



サンドバックは中級と同じです。

これは、駄目です。使うと、紐が通してある口の部分が切れてしまいます。陸上の使い方と違うので、紐が袋から離れない工夫が必要になります。



様々な方法がありますが、どれでも構いません。一度口を締めて、折り返し、クラブヒッチでしっかり留めてから、袋の首を折り曲げて2回位袋首を巻き首の中を通して、完成。袋の首で縛る方法や、紐をダブルにして完成する方法もあります。

要は、最初の締めは①紐が袋の口を切らないようにすること、②袋の口（首）をしっかり閉じる、③袋の首に絡ませて、紐が切れるのを防ぎながら、力が袋全体にかかるようにする。

